

平成30年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

東京有明医療大学

令和元年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京有明医療大学動物実験規則 ・東京有明医療大学動物実験実施要領 ・飼養及び保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験は本年度より体制を整備しスタートした。動物実験規則においては基本指針を十分網羅している。しかし実験中の危機管理についての具体的行動指針が実施要領に盛り込まれていないとの指摘があり、改善すべき点である。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成30年度の自己点検・評価報告書の公表までに達成する。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京有明医療大学動物実験規則 ・東京有明医療大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した大学全体の動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京有明医療大学動物実験規則（別紙様式1～10含む。） ・東京有明医療大学動物実験実施要領（様式1～2含む。）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本指針に則して動物実験計画書の立案に関わる各種様式が適正に定められており、また実施体制も定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料
該当せず。

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
該当せず。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・東京有明医療大学動物実験規則（別紙様式1～10含む。）
- ・飼養及び保管マニュアル（様式3～4含む。）
- ・実験動物管理台帳
- ・実験動物搬入届（別紙様式3）
- ・動物実験状況報告書（別紙様式6）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物の飼養保管施設は特定されており適正な飼養保管体制といえる。しかし、実験動物の逸走や災害緊急時の具体的マニュアルが不十分であるため早急に対応の必要がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成30年度の自己点検・評価報告書の公表までに達成する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京有明医療大学動物実験規則 ・東京有明医療大学動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成30年度は、動物実験室立ち上げに伴い、委員会を2回実施し議事録も学内公開されており、大学協議会においても審議内容が報告されている。その他メール審議等も2回行われており、十分機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験委員のみならず動物実験委員会事務を行う者には、倫理性・法規制等も含め幅広い知識が要求されるため、教育訓練等を通じ、教育の充実を図っていく。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京有明医療大学動物実験規則 ・東京有明医療大学動物実験実施要領 ・平成30年度動物実験計画書 ・平成30年度動物実験状況報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき点がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当せず。

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・東京有明医療大学動物実験規則 ・飼養及び保管マニュアル ・実験動物管理台帳
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成30年度より動物実験室設置に伴い飼養ラックを購入し、同時に飼養及び保管マニュアルの整備を行った。また飼養動物の種類・使用数を管理台帳にて整備し、適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・東京有明医療大学動物実験規則 ・動物実験室設置承認申請書 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 本学は開学10年であり、動物実験室及び飼養保管施設の老朽化は無い。飼養ラックや消耗品類についても平成30年度に新規購入しており、適正な管理が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
--

2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成30年度は動物実験実施者を対象とした教育訓練は、本学内で行われていない。なお当該年度に動物実験計画を申請した動物実験責任者2名は、いずれも他の研究機関において教育訓練を受講した者であり、動物実験に精通した者である。なお、日本実験動物学会の説明会に動物実験委員及び事務職員が参加し情報の習得を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成30年度の自己点検・評価報告書の公表までに達成する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京有明医療大学動物実験規則 ・ 平成30年度自己点検・評価報告書 ・ 東京有明医療大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成30年度の自己点検・評価が適正に実施されており、本年度より大学のホームページに公開されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

--